
環境報告書 2007

2007年3月期

Contents

0 . 企業理念・経営指針・環境方針	1
1 . 環境報告書発行にあたり	2
2 . 会社概要・事業概要	3
3 . 環境負荷マスマランス	4
環境データ	5
4 . 推進体制	6
5 . 環境監査	7
6 . 環境目的・目標の制定と活動結果	8
活動紹介	9

編集方針

当社は2006年4月1日に「NECテレネットワークス株式会社」を株式交換によりグループ会社とし、2007年4月1日に同社と合併致しました。

環境管理活動については、1年間の準備期間において、環境目的・目標の整合をはかり、2007年4月より統合した活動を展開しております。

本報告書は、基本的に統合前のNECネットエスアイ(株)の環境管理活動を中心に記載し、NECテレネットワークス(株)の活動を引用する形で編集しております。

企業理念

NEC ネットエスアイグループは

お客様のビジネスパートナーとして

お客様の価値向上

便利で豊かな社会の創造

人と人を安心でつなぐネットワークの構築

を目指して新しい時代への架け橋を築きます。

経営指針

お客様の企業価値向上を目指す

健全な経営により株主、取引先、地域社会に貢献する

最高の品質と安全を常に約束する

環境に配慮し良き企業市民として行動する

社員の能力が最大限に発揮できる職場づくりを目指す

環境方針

基本理念

NEC ネットエスアイは、情報化社会のシステムインテグレーターとして、全社員が「地球にやさしい事業活動」に取り組み、環境と調和する企業を目指し豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

NEC ネットエスアイは、環境との調和を経営の重要課題の一つとして、社員一人ひとりが、以下の環境保全活動を推進します。

- (1) 情報通信システムのコンサルティングから企画、設計、資材調達、ソフト提供、施工、保守運用までをインテグレートする活動、製品およびサービスの全領域において、環境に影響を与えていていることを認識したうえで、技術的・経済的に可能な限り環境の向上に努める。
- (2) 環境汚染を未然に防止するとともに、継続的な改善をはかる。
- (3) 環境関連法令、協定およびその他要求事項の遵守、環境に影響を与えるおそれのある活動、製品およびサービスを管理する。
- (4) 環境方針に基づく管理活動を展開するにあたり、年度目的・目標を定め、活動、製品およびサービスの各段階で省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減などを推進する。かつ、その施策を環境マネジメントプログラムの中で実行し、改善をはかる。
- (5) 環境方針を文書化し、全社員へ周知するとともに、環境マネジメントシステムにより実施し維持する。
- (6) 環境方針は、広く公開するとともに、地域社会に貢献する。

2007年4月1日
代表取締役執行役員社長

山本 正彦

1. 環境報告書発行にあたり

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書では「気候システムの温暖化には疑う余地」がなく、またその原因は「人為起源の温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性が高い」ことが報告されています。そして、この地球温暖化の様々なリスクを回避するためには「今後20～30年間の緩和努力と投資がかぎとなる」と謳われております。

当社は、NECグループの一員として、これまでも様々な環境管理活動を展開してまいりました。今後も継続して、地球温暖化対策に注力してまいりたいと考えております。

これまでの活動は、自社の環境負荷低減活動が中心でしたが、これからは、当社のソリューション力を結集して、お客様の環境負荷低減に寄与してまいります。

このレポートは当社のコミュニケーションツールとして、過去1年間の活動を具体的にまとめたものです。当社の環境管理活動に関する取り組みについて皆様のご参考になれば幸いです。

2007年12月

環境管理総括責任者 / 執行役員常務

林 安男



報告範囲

対象期間: 2006年4月1日～2007年3月31日

事業対象: 国内全域におけるすべての事業活動および間接部門の活動

対象範囲: 日本国内の全ての事業所(本社1、支社1、支店15、営業所36)

関係会社は含まれていません。

2. 会社概要・事業概要

商号	NECネットエスアイ株式会社	代表取締役執行役員社長	山本 正彦
設立	1953年11月26日	環境管理総括責任者	
本社所在地	東京都品川区東品川一丁目39-9	執行役員常務	林 安男
資本金	131億22百万円<東証1部上場>	環境マネジメントシステム管理責任者	
国内拠点	本社1、支社1、支店15、営業所36	CS品質推進本部長	中嶋 弘
従業員数	2,920名(2007年3月31日現在)		(2007年10月1日現在)

受注高・売上高推移(連結)

(百万円)

	2004年度	2005年度	2006年度
受注	207,460	223,383	253,577
売上	198,625	213,672	254,641

売上高推移(単独)

(百万円)

	2004年度	2005年度	2006年度
売上	192,447	191,135	189,498

注:連結子会社であるNECテレネットワークス㈱の2006年度売上高は45,022(百万円)です。

事業の内容

当社の企業集団は、当社および連結子会社13社(国内:6社、海外7社)で構成しています。当社グループは、システムインテグレータとして、ネットワーク関連分野を中心としたトータルシステムの企画・コンサルティング、設計、構築、保守、ネットワーク運用・監視、アウトソーシングサービスの提供ならびにネットワークコミュニケーション機器等の製造・販売を展開しています。

事業の種類別セグメント売上高(2006年度)(連結)

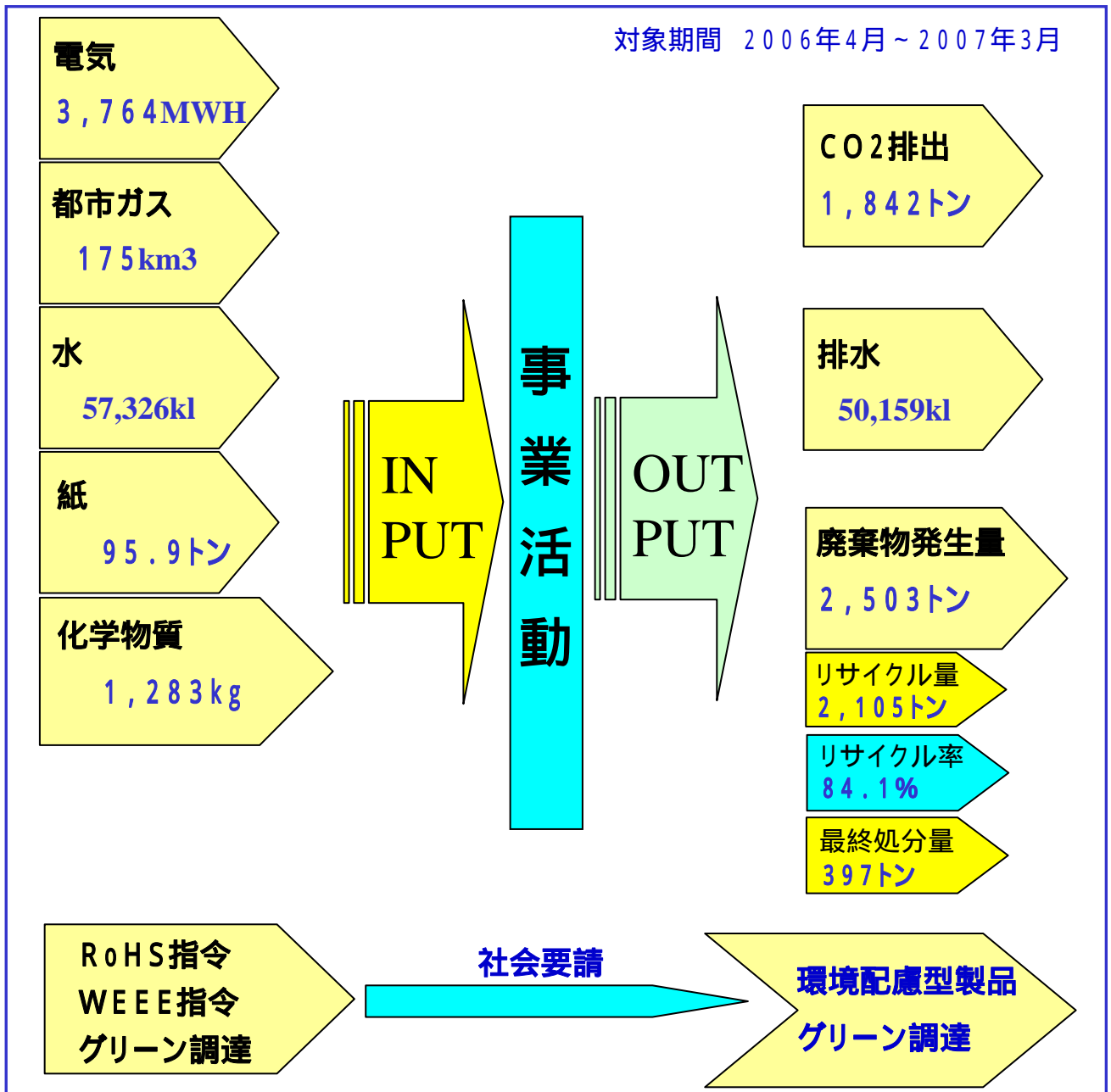
事業の種類	売上高(百万円)
ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業	161,474
通信工事事業	67,085
機器等販売事業	26,082
合計	254,641

当社事業については以下のホームページをご覧ください。より詳細な情報を提供しております。

<http://www.nesic.co.jp/>

3. 環境負荷マスマランス

当社の事業活動(自社での発生量)に投入した各種資源と環境負荷の関係を図示しました。



電気: オフィスで使用した電力消費量
 ガス: オフィス空調で使用した都市ガス消費量
 水: オフィスで使用した上水道消費量
 紙: オフィスで使用したコピー用紙消費量
 化学物質
 鉛はんだ、塗料、接着剤等

CO₂排出: 電力、都市ガス等エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素発生量
 排出係数 電気 0.38 ton-co₂/mwh
 都市ガス 2.356 ton-co₂/km³
 排水: オフィスからの生活廃水
 廃棄物発生量: 一般廃棄物 + 産業廃棄物の総量
 リサイクル量: 廃棄物を再資源化した総量
 処分量: 廃棄物を焼却処分または埋立処分した総量

環境データ

	単位	2004年度	2005年度	2006年度	前年 対比
電気	MWH	3,987	3,936	3,764	-4%
都市ガス(13A)	km ³	170	167	175	5%
CO ₂ 発生量	トン	1,916	1,889	1,842	-2%
水	m ³	50,855	58,111	57,326	-1%
コピー用紙(100%再生紙)	kg	93,611	90,193	95,981	6%
産業廃棄物発生量	トン	1,803.48	2,363.44	2,303.52	-3%
一般廃棄物発生量	トン	203.21	216.06	199.21	-8%
産業廃棄物リサイクル量	トン	1,349.28	1,926.49	1,919.05	-0.4%
一般廃棄物リサイクル量	トン	177.19	190.21	186.43	-2%
産業廃棄物処分量	トン	454.20	436.95	384.47	-12%
一般廃棄物処分量	トン	26.02	25.85	12.78	-51%
廃棄物発生量	トン	2,006.69	2,579.50	2,502.73	-3%
廃棄物リサイクル量	トン	1,526.47	2,116.70	2,105.48	-1%
廃棄物処分量	トン	480.22	462.80	397.25	-14%
廃棄物リサイクル率	%	76.1%	82.1%	84.1%	3%

参考[従業員数]	人	2,877	2,913	2,920	0.2%
参考[売上高](単独)	百万円	192,447	191,135	189,498	-1%

2004年度～2006年度間の管理数値を掲載いたしました。

なお、CO₂排出係数は3年間を通して以下の数値を採用しています。

電力 0.38 ton-co₂ / MWH

都市ガス(13A) 2.356 ton-co₂ / km³

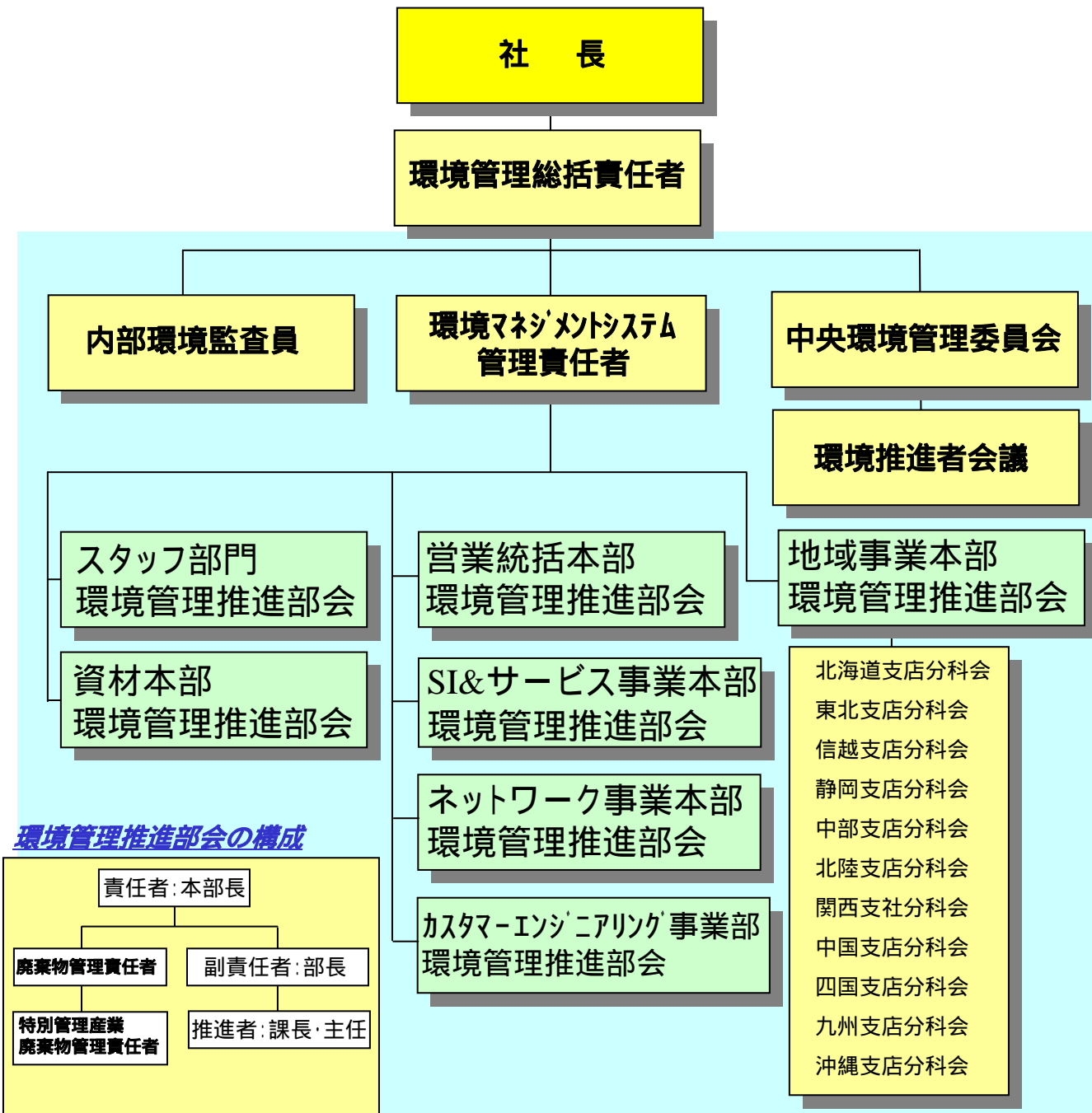
また、参考数値の従業員数、売上高は単独決算数値です。

4. 推進体制

当社では、環境管理総括責任者を委員長として、スタッフ部門、資材部門、各事業部門より適任者を選任し、年1回、年度毎の環境管理活動の総括および次年度の活動方針を決定する「中央環境管理委員会」を開催しております。

また、環境マネジメント活動を円滑に推進するために環境推進者会議を毎月開催し、スタッフ部門、資材部門、各事業部門から選任された推進員により、活発な審議を行っています。

なお、各支社・支店では、その地域性を考慮して、分科会を設置して活動母体としております。



2006年10月1日現在

5. 環境監査

ISO14001定期審査(審査機関 (株)日本環境認証機構)

今年度は、2006年6月5日～6月7日の間、1年次定期サーベイランス審査を受審し、環境マネジメントシステムは適切に維持、管理され、パフォーマンスも向上しているとの評価を受けました。

審査実施サイト	重大な不適合	軽微な不適合	観察事項	順守状況
NECネットエスアイ(株)	0件	0件	5件	維持

ISO14001切替審査(審査機関 (財)日本品質保証機構)

2007年度にNECテレネットワークス(株)とISO14001認証統合を行う目的で、審査機関を(財)日本品質保証機構に変更するため、3月13日に切替審査を受審し、3月23日に切替を完了しました。

登録事業者	審査機関	登録証番号	登録日	有効期限
NECネットエスアイ(株)	(株)日本環境認証機構	EC99J1037	1999.7.28	2007.3.22
	(財)日本品質保証機構	JQA-EM5766	2007.3.23	2008.7.27

内部環境監査

今年度は、2006年11月16日～6月7日の間、12サイトの内部監査を実施し、その結果は以下の通りです。この監査結果は、水平展開をはかり再発防止に努めるとともに環境管理総括責任者に報告する事でマネジメントシステムの見直しに反映させております。

監査実施サイト数	重大な不適合	軽微な不適合	観察事項	要望・課題	期待その他
12サイト	0件	0件	2件	10件	13件

NECテレネットワークス(株)は、1999年12月にISO14001認証を取得し、2006年は10月4日～10月6日の間、定期審査を行い、ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムが維持管理されているとの判定を受けました。

審査機関	登録証番号	登録日	有効期限
(財)日本品質保証機構	JQA-EM0640	1999.12.17	2008.12.16

ストロングポイント	指摘事項		
	カテゴリ-A	カテゴリ-B	改善の機会
0件	0件	0件	20件

6. 環境目的・目標の制定と活動結果

2006年度環境活動[総括]

	環境目的・目標	2006年度 計画	2006年度 実績	達成度	単位
1	産業廃棄物リサイクル率向上	85	83		%
2	一般廃棄物リサイクル率向上	93	94		%
3	電力購入量削減	3,830	3,764		MWH
4	コピー用紙購入量削減	90.2	95.9		トン
		30.5	32.4		1人/1日当り 使用枚数
5	FRPアンテナ支持柱販売	2,850	1,619		販売本数
6	環境配慮型製品販売	55	66		販売台数
7	IXルータ拡販	300	247		セット
8	特別管理産業廃棄物 監視システム構築	23	26		契約稼動 台数

達成 未達成

環境配慮型製品やサービスに関する取り組み

2006年度環境目的・目標は8項目中4項目が未達成となりました。これらについて、再度、活動プロセスの見直し、改善を行い、環境管理活動を推進してまいります。

2007年度 of 取り組み

指標	取り組み
地球温暖化防止	電力使用量削減、社有車両のエコカー導入推進、物流の環境負荷低減
資源循環	一般廃棄物・産業廃棄物のリサイクル率向上
資源有効利用	デジタル複合機による紙情報の電子化、ペーパーレス会議の実施推進
エコソリューション推進	照明設備の省エネソリューション、ルーテビASPサービス等推進
環境マネジメント	会社統合(NEC ネットウェアイ + NEC テレネットワークス)に伴う環境ISO認証の統合
人材育成・意識啓発	アンケート調査による高環境意識層の拡大

活動紹介

【環境法規制順守状況】

「法規制の順守」は経営の最重要事項であり、従来より企業倫理の社内体制の整備や啓発活動を推進してまいりました。

今年度は、廃棄物処理法改正に伴う産業廃棄物委託契約書改訂、資源有効利用促進法改正に対応した有害物質含有情報表示、石綿障害予防規則改正に準拠した社内運用手順書の整備等を行いました。

また、海外法令対応として欧州RoHSや中国RoHSに関しても、社内順守体制の構築や啓発を行ってまいりました。

このような活動の結果、事業所周辺環境に重大な影響を与える事件・事故や環境関連法令違反、行政指導等はありませんでした。

【環境ソリューション：省エネ・軽量型エコキュービクル】

省エネ・軽量型エコキュービクルは、断熱層、通風層および放熱層の3層構造により、箱全体が熱交換機として作用します。これにより冷却する時間が抑えられ、省エネとランニングコストの削減が出来ます。

<省資源> 局舎タイプで40%以上の軽量化(当社従来比)

<省エネ> 省エネ構造により空調運転を67%削減
(当社従来比)



NECテレネットワークス㈱における環境配慮型事業活動

【顧客納入装置の延命化によるCO2削減】

顧客納入装置をオーバーホールし、装置寿命を延命化させ新規装置の投入時期を遅らせることにより、製品廃棄に伴うCO2削減に寄与する。

通信機器の使用開始から廃棄までの環境負荷を試算すると、約30%が製品廃棄時に発生します。

このことから製品の長寿命化をはかる事による環境配慮効果が高い事に着目して取組みを開始。



NEC ネットエスアイ株式会社

〒140-8620 東京都品川区東品川一丁目39-9

発行責任者 CS品質推進本部長 中嶋 弘

編集責任者 安全品質推進室長 桜井 繁光

発行 2007年12月03日

問合せ先 CS品質推進本部

TEL (03)5463-7713